学校番号	１００４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	物理基礎　（実教出版）						
副教材等	セミナー 物理基礎＋物理　（第一学習出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習はあくまでも主体的に取り組んでください。
・学校独自のプリントで学習します。「問題集」のためのノートも用意してください。
・家庭学習をする際は、疑問に思ったことをメモし、自分で調べたり質問したりするなどしてその都度解決するようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
　学んだ物理的な知識を用いて身の回りの様々な物理現象について考える力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，
　目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	空間･時間･物体･運動を考察の対象として認識できていることを踏まえ、物理的な知識や物理法則について、理解できていること。	空間･時間･物体･運動を思考の対象とし、その中に存在する法則性について論理的に理解すること。	日常生活における体験や社会･文化･思想的背景との関連の中で、自ら課題をもって科学的に探求しようとする姿勢の確立。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	運動とエネルギー	運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー	a: 力と加速度についての理解、仕事とエネルギーの関係について理解ができている。 b: 空間と時間について、物理学の対象としてとらえる。 c: 物体の運動について、意欲的に理解しようとする。	定期考査	定期考査 ノート提出 パフォーマンス課題	ノート提出 パフォーマンス課題
二学期	熱	熱とエネルギー	a: 熱量の保存、内部エネルギーについての基本的概念についての理解。 b: 熱とエネルギーの関係を他者に表現できるようにする。 c:「熱とは何か」について探求しようとする。			
	電気	物質と電気 磁場と交流	a: オームの法則、交流についての理解。 b: 電位とエネルギーの関係を自分の言葉で表現できるようにする。 c: 家庭生活における電気について考えてみようとする。			
三学期	波	波の性質 音	a: 変位が位置と時間の関数であることの理解。 b: 波の変位やエネルギーの関係を考え、表現する。 c:「波とは何か」について探求しようとする。			
	物理学と社会	エネルギーの利用 物理学が拓く世界	a: エネルギーの流れ、及び省エネルギーへの理解。 b: エネルギーの保存則と様々なエネルギーについて考える。 c: エネルギーにつて関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度